

ボラ♥ほっと

発行:北名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター(Tel:0568-25-8500) 編集:北名古屋市ボランティア連絡協議会

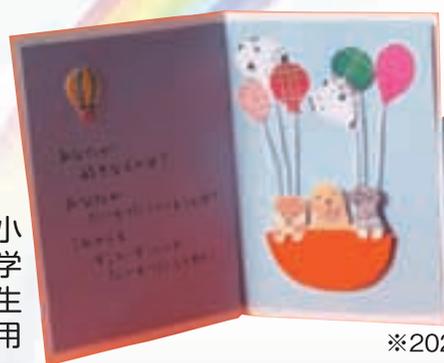
春です! あなたもボランティアを始めてみませんか!

きっと、あなたにぴったりのグループがあるはず・・・

幼児用



小学生用



※2020年度に作成したものです。

中・高生用



バースデイカード

「虹」30周年に寄せて

社協さんをはじめ多くの方々のお力添えや、虹の会員の協力で30周年を迎えることが出来ました。感謝申し上げます。

少年少女たちの“えがお”が、作り続ける原動力「作る楽しさ、贈る喜び」になりました。

これからも明日に向かって、きれいな虹がかかることを願って、仲間と共に楽しくバースデイカード作りを続けたいと思っています。

若松貴美子



① ※ボラ・ほっとは、皆さまから寄せられた共同募金の配分金の一部で作成しています。



私たちも活動しています!

No. 2

ボランティアセンター登録の団体はそれぞれ3密を考慮して、活動を続けています。あなたの時間を活用してみませんか。一度見に来てください。

キツツキの会

『キツツキの会』40周年を迎えて

5人の勉強会から始まった活動、長い間には会員がひとりになったこともありましたが、点字本作成の道具は点字板と点筆、そして点字タイプライターを経て、今ではパソコンと点字プリンタと便利になりました。道具は変わっても活動の目的は変わりません。

今後も情報保障のための点訳活動、福祉実践教室への協力など細く長くコツコツと活動をしていきたいと思えます。



点字プリンタ打ち出しに活躍中!

2019年まで使用していた点字プリンタの修理が困難になり、みずほ福祉助成財団の助成により更新整備させていただきました。

今後も点字活動に安心して取り組むことができます。

本間 達人



れもん

私たち手話サークルれもんは、30周年を迎えました。

30年前は、手話講座もなく、ろう者との交流の中で手話を学ぶという時代。現在では、手話講座の受講経験者も多く、テレビのワイプに手話通訳が付くなど手話に対する認知度も高まってきました。障害を認め合い障害を理由に社会参加を阻むバリアをなくしていく世の中になりました。しかし、いくら制度が変わっても人の『心のバリア』は、簡単にはなくなりません。実際に出会い、コミュニケーションし、お互いの立場を理解することが大切です。

私たち手話サークルは、会員が聞こえの障害を感じることなくコミュニケーションや交流できる場として活動してきました。

聞こえない世界(文化)と聞こえる世界(文化)をお互いに理解し、情報の交換ができる場でありたいと思っています。

これからも共に歩む仲間の集える場として活動していけたらうれしく思います。

江崎 万智子



もえの丘にて (サークルの様子)

③ 北なごや

ボランティア養成講座を、10月17日(土)と11月21日(土)にもえの丘研修室で行いました。「書いて伝える」ノートテイク用のボード作りとコミュニケーションの方法をお話ししました。

筆談コミュニケーションのポイント

聞こえない方とのコミュニケーション手段の一つに筆談があります。しかし、いざやってみようとする、戸惑ってしまうことがあります。

例えばお店でお水を出す時に「お水です」とわざわざ書く必要はありません。見ればわかるからです。

何を伝え、何を省くか、適切な言葉選びができるよう、いくつかポイントを紹介します。

石原 幸世



♡ 体験レポート ♡

聞こえない人にとって、口元をマスクで覆うと言葉の伝達手段が奪われます。そのため、今まで以上に要約筆記の必要性が高まっているのではないのでしょうか。

📖 筆談ポイント10か条

- 1 読みやすい文字で(大きめに)
- 2 短い言葉で、簡単に
- 3 日時は具体的に
- 4 適度に漢字を使う
- 5 わかりやすい言葉で
- 6 直接的に、具体的に
- 7 たとえ話は伝わりにくい
- 8 敬語を使いすぎない
- 9 横書きにする
- 10 アラビア数字(1 2 3)を使う

麦の会

コロナニモマケズ・・・

麦の会の「ふれあい会」はコロナ禍で2020年2月以降、中止となり現在にいたっています。

75歳以上のおひとり暮らし高齢者の皆さんと昼食を共にしながらの「ふれあい会」は私たち麦の会にとって、いつもの日常でした。

その日常が2020年の3月からは、手作りの“かわらばん”を持参して皆さん宅を訪問し、マスク越しの会話のみになってしまいました。そして早いもので、1年が過ぎました。まだまだ厳しい日々が続いています。

でも、こんな時だからこそ今だからこそ、2021年は麦の会ならではの「ふれあい」を企画していきたいと思っています。さあ、みんな頑張ろう!

吉田 彩子

蕎麦打ち倶楽部



2/2(火)

健康を気にしている方必見!
蕎麦は栄養素の宝庫!

昨年7月より、もえの丘が制限付きで利用できるようになり栄養指導室が10名以上にならないように気をつけて活動しています。

毎月第1、第3火曜日に9時からと10時からの2部に分けて行っています。

関心ある方は一度見に来てください。お待ちしております。 佐藤 栄里子

作ってみよう！防災マップ

「防災マップ」とは、地域内で災害時に役立つものや危険なモノなどを、地図上に書き込んだものです。



あなたはどちらにお住まいですか？

まずは自宅周辺の地図を作ってみませんか。「防災マップ」を作るメリットは、隣近所には誰が住んでいるだろう。指定避難所って何処にあるんだろう。そこまでの安全避難経路は？と自分の住んでいる地域の実情を再確認（再発見）することができます。お散歩しながら、災害時に倒れたり落ちて来そうなモノがないかなど、危険な場所の確認をしたらいかがでしょうか。あわせて途中トイレや休憩できる場所も調べておくと安心ですね。

北なごや防災ボランティア

師勝北小学校で「防災マップ作り」をお手伝いすることになっていましたが、1月8日に新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発令され中止になりました。

再度学校から要請があれば、子どもたちと一緒に、防災マップを作りたいと思っています。 山下 君子

エツ Say!

昨年の朝ドラ「エール」を見るのが楽しみでした。こせき ゆうじ 古関裕而氏の作曲の歌には、それぞれの時代の社会背景があり、私の育った時代にも数々の歌があり、よく口遊みました。その中で「長崎の鐘」「とんがり帽子」は、心に残っている歌です。戦中・戦後の昭和の曲を懐かしく思い出しました。

コロナで外出も^{まま}儘ならぬ今、ゆっくり音楽を聴き、時間に余裕のある生活を取り戻したいと思います。

キツツキの会 荒金 彭子



マスコットキャラクター
にこりん

『ボラ・ほっと』は今月号（60号）を持ちまして終了いたします。12年間のご拝読ありがとうございました。今後は『すまいる』に、ボランティア情報を掲載しますのでお楽しみに。

編集員 一同